

セイコー運輸

ヘルパー付き引越事業など 地域貢献へ多彩な事業展開

【大阪】大手引越事業者や運送事業者は現在、テレビなどを通じて引越サービスを提供している。数十年前までは引越事業を中小事業者が手がけるケースも多かった。この状況を打開するために、新たなサービス、時代のニーズに合わせたサービスが必要とされる。

大阪府住之江区に本社を構えるセイコー運輸（宮高浩社長）のセイコー引越センターでは5年前から、「ヘルパー」を雇い、引越作業をサポートしている。数十年前までは引越事業を中小事業者が手がけるケースも多かった。この状況を打開するために、新たなサービス、時代のニーズに合わせたサービスが必要とされる。

ヘルパー2級資格を自ら取得し、現場にも立ち会う高宮豪専務は以前から、体の不自由な人々や高齢化社会に向けて社会貢献を出来

ることはないかと考えていた。それを契機にシルバー住むーぶ事業を展開し、現在では東京・埼玉・滋賀の運送事業者と業務提携するなど、事業拡大を図る。同事業は平成19年、全下協中小トラック運

送事業の収益向上のためのインセンティブ助成事業の認定サービスになるなど、中小事業者の新しい引越予算が少ない

など、「学生のための機材や楽器輸送」などで、ドライバー一人とトラックを時間貸しすることで、通常の輸送よりも料金を低額に設定。運送事業者も空き時間を効率的に稼働させることができ、雇用安定はもちろん、地域貢献など様々な面で有効的な事業になる。

5年前から展開しているヘルパーが付く引越業務「タイムレンタル住むーぶ」を展開。中小運送事業者にとつてのシンクタンクとして、様々な新事業を出している。

タイムレンタル住むーぶでは、人手は多いが引越予算が少ない



高宮豪専務

送事業の収益向上のためのインセンティブ助成事業の認定サービスになるなど、中小事業者の新しい引越予算が少ない

など、「学生のための機材や楽器輸送」などで、ドライバー一人とトラックを時間貸しすることで、通常の輸送よりも料金を低額に設定。運送事業者も空き時間を効率的に稼働させることができ、雇用安定はもちろん、地域貢献など様々な面で有効的な事業になる。

5年前から展開しているヘルパーが付く引越業務「タイムレンタル住むーぶ」を展開。中小運送事業者にとつてのシンクタンクとして、様々な新事業を出している。

タイムレンタル住むーぶでは、人手は多いが引越予算が少ない

など、「学生のための機材や楽器輸送」などで、ドライバー一人とトラックを時間貸しすることで、通常の輸送よりも料金を低額に設定。運送事業者も空き時間を効率的に稼働させることができ、雇用安定はもちろん、地域貢献など様々な面で有効的な事業になる。

5年前から展開しているヘルパーが付く引越業務「タイムレンタル住むーぶ」を展開。中小運送事業者にとつてのシンクタンクとして、様々な新事業を出している。

「終日」「IT」 点呼を開始へ

≡ 広島急送 ≡

【広島】広島急送（広島市安佐北区）は3月

から、24時間の対面点呼可能な体制を充実化させるとともに、アルコールチェッカーを使用した管理業務の運用を開始した。24時間の点呼は現在、従来の運行管理者や補助者がローテーションを組む形の交代制を敷いているが、「4月からは夜間・早朝の専従者を置く方向で準備を進めている」（責任者）と話し

機能や保守コストなどを踏まえて総合的に検討したことで、最終決定が2月中旬までズレ込んだという。グループ3社で計180台のトラックを保有しているが、据え置きとなる事務所向けの検知器とは別に、中・長距離運行がメインとなる80台のトラックには携帯電話と接続するハンディタイプのチェッカーを導入。さらに「運行スケジュールの変更など、万一に備えることも不可欠」との判断から昨年末、180台の全ドライバーに簡易タイプのチェッカーを配布した。

アルコール検知器の活用と合わせ、現行の管理スタッフが交代で任務に就く24時間点呼もスタートさせているが、「チェッカーの運用面なども含めて問題点を拾い出すのが狙い」と説明。3月いっぱい試験期間と位置付け、チェッカー使用の義務化が始まる4月からは夜間・早朝の専

で徹底管理 C使用の撲滅を

組協トラック中央



研修会では、事務局からETCカード利用による主な割引制度や協同組合の割引率の説明のほか、ETCカードの管理徹底や不正通行の防止などについて呼びかけられた。



のたに適正化をし、透明性が高くなり、我々の事業運営が公正に運用されたい」と述べた。



続いて、塚口博司委員長（立命館大学）が

4月から